

諏訪之瀬島の火山活動 —2012年10月～2013年2月—

Volcanic Activity of Suwanosejima Volcano —October, 2012–February, 2013—

福岡管区气象台 火山監視・情報センター

鹿児島地方气象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

・噴煙などの表面現象の状況（第1図、第2図-①⑥、第6図、第7図）

御岳火口では、爆発的噴火は発生しなかったが、ごく小規模な噴火が時々発生した。

噴煙の最高高度²⁾は火口縁上700mであった。また、同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、2012年10月2日、5日、11月9日に島内の集落（御岳の南南西約4km）で降灰が確認された。

2012年12月26日に、海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、御岳火口底の中央部で赤熱した溶岩が認められ、赤外熱映像装置による温度分布にも高温領域が認められた。

・地震や微動の発生状況（第2図-②～⑤⑦⑧⑨⑩、第3図）

諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震が2月19日以降やや増加した。なかでも2月19日19時21分に発生したマグニチュード3.6（暫定値）の地震では、諏訪之瀬島で震度3を観測した。地震回数は25日以降、減少傾向を示している。この地震活動に伴って傾斜計には特段の変化は認められない。また、御岳火口直下を震源とする火山性地震も少ない状態で経過しており、噴煙・噴火活動にも今のところ特段の変化は認められない。

振幅の小さな火山性微動が2012年9月以降、ほぼ連続して発生している。

・地殻変動の発生状況（第4図、第5図）

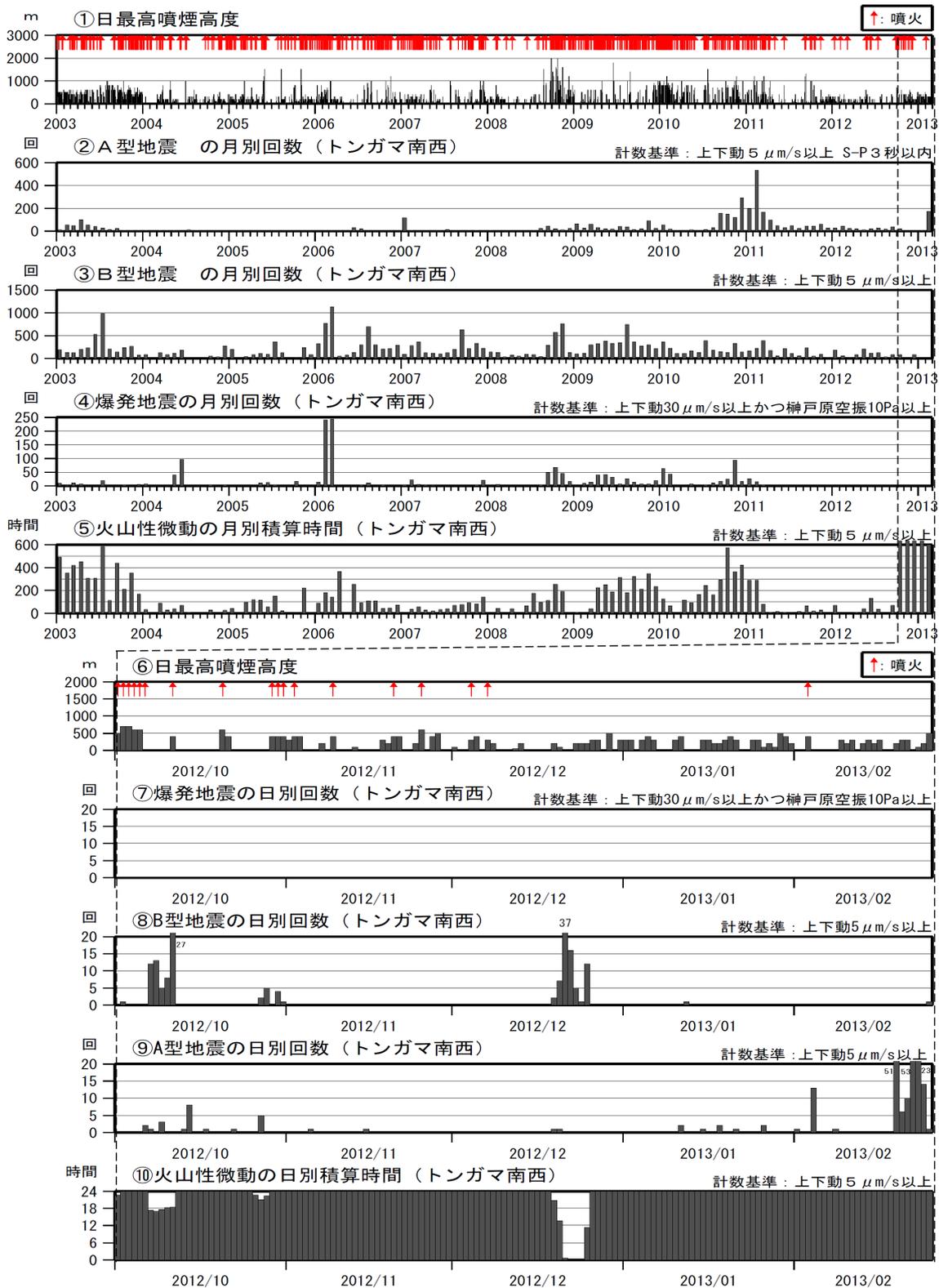
傾斜計では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。



第1図 諏訪之瀬島 噴煙の状況
(12月7日、キャンプ場遠望カメラによる)
Fig.1 Visible image of Suwanosejima.

- 1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。
- 2) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を用いている。

* 2013年3月29日受付



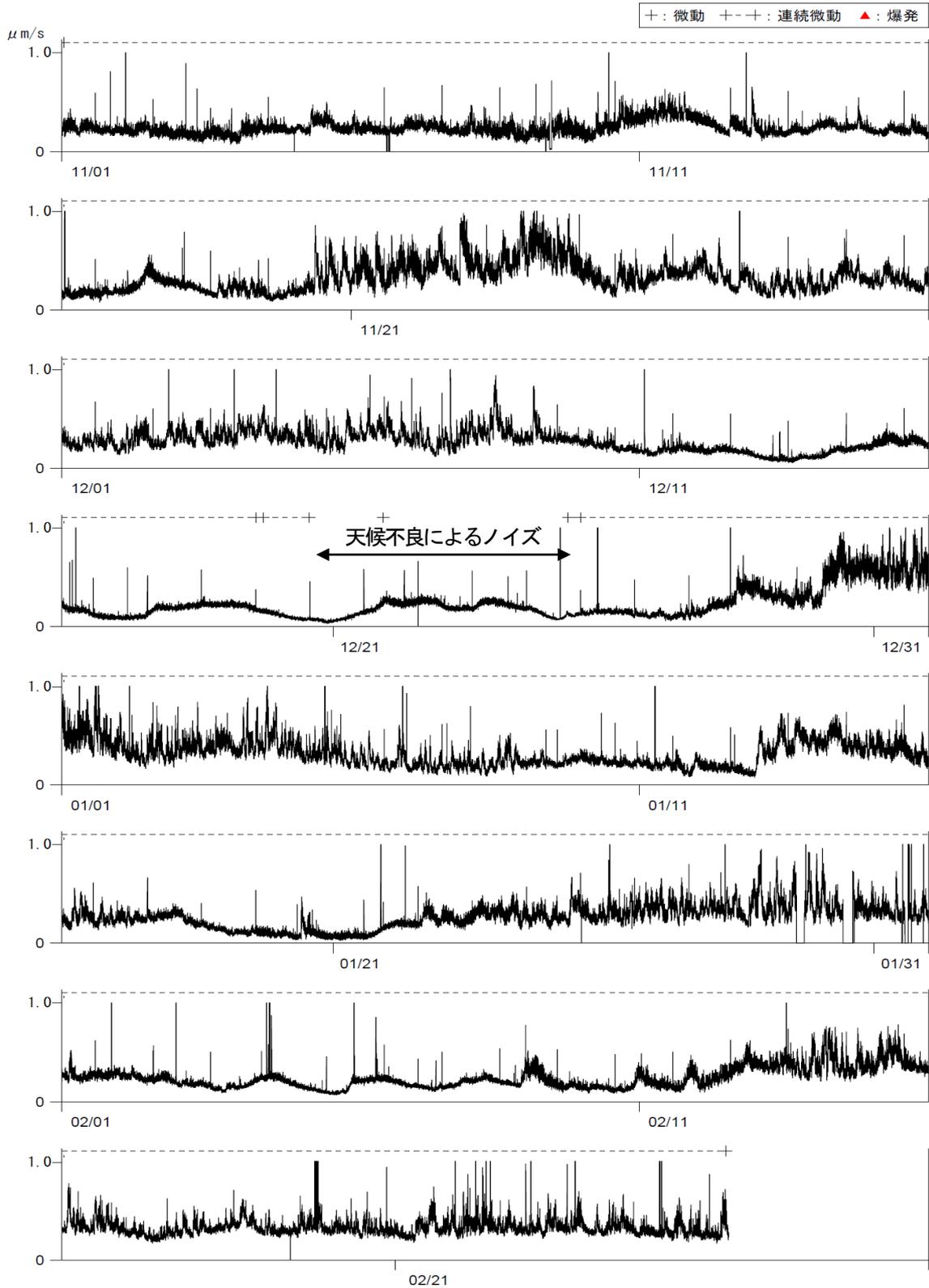
第2図 諏訪之瀬島 火山活動経過図 (2003年1月～2013年2月25日)

長期にわたり噴火を繰り返している。

<2012年10月～2013年2月25日の状況>

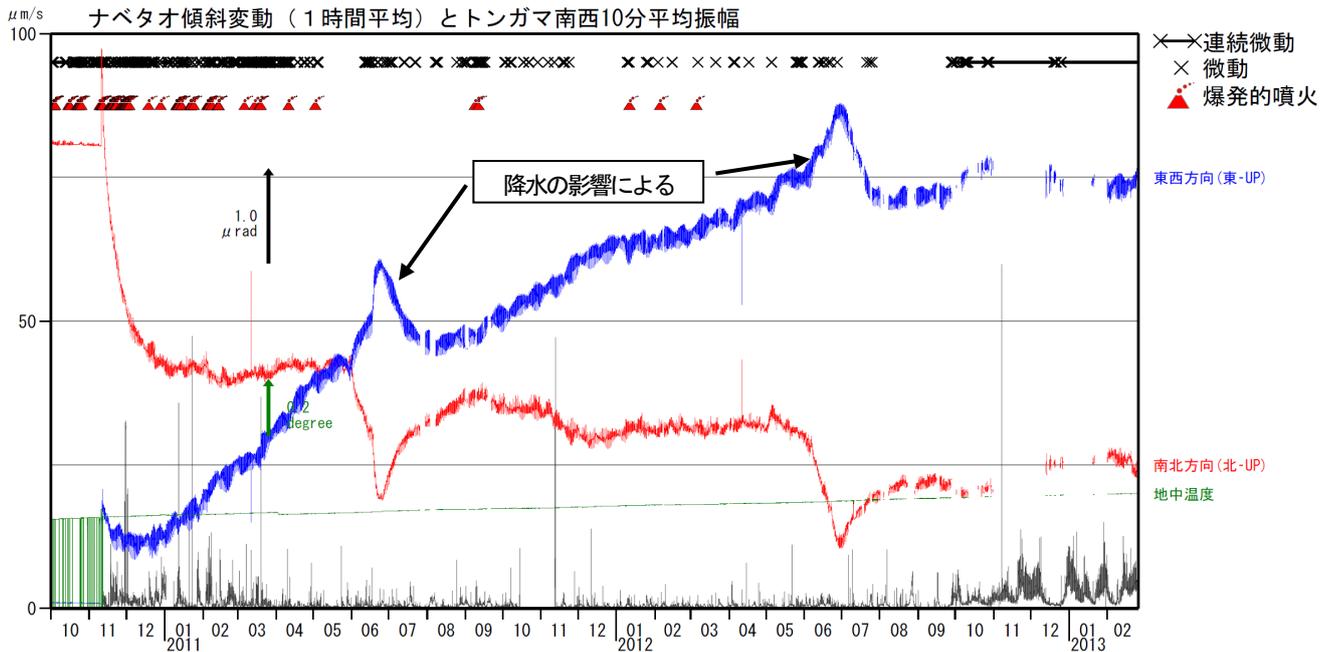
- ・爆発的噴火は発生しなかったが、ごく小規模な噴火が時々発生した。
- ・噴煙の最高高度は700mであった。
- ・2013年2月19日以降、諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震がやや増加している。
- ・火山性微動が、ほぼ連続して発生した。

Fig.2 Volcanic activity of Suwanosejima (January, 2003 – February, 2013).

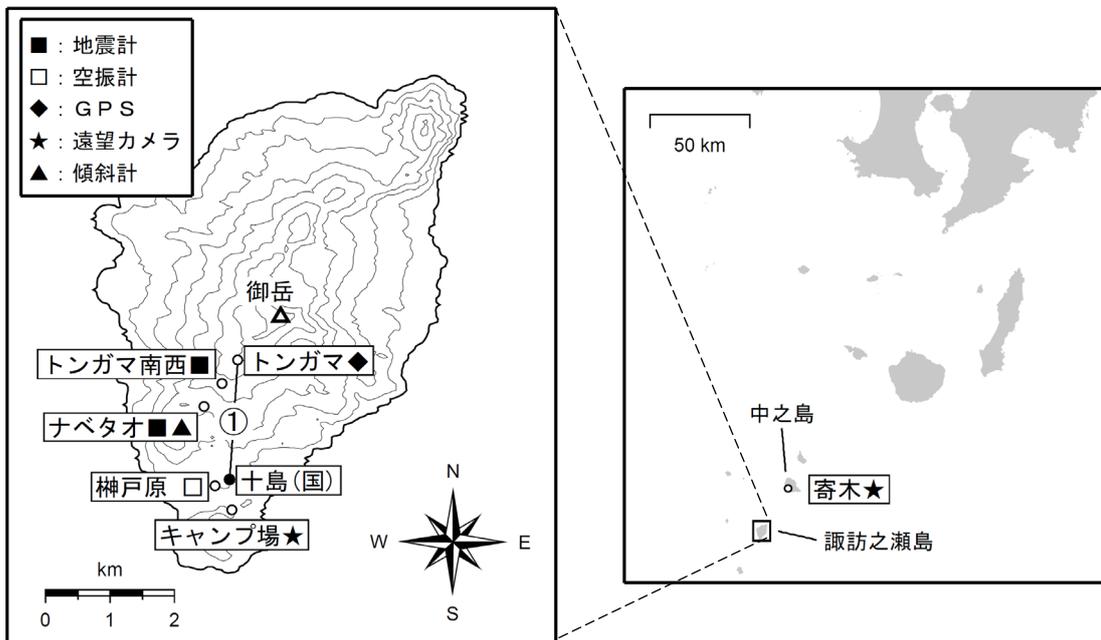


第3図 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化 (トンガマ南西上下成分) (2012年11月1日~2013年2月25日)
 <2012年10月~2013年2月25日の状況>
 火山性微動はほぼ連続して発生した。

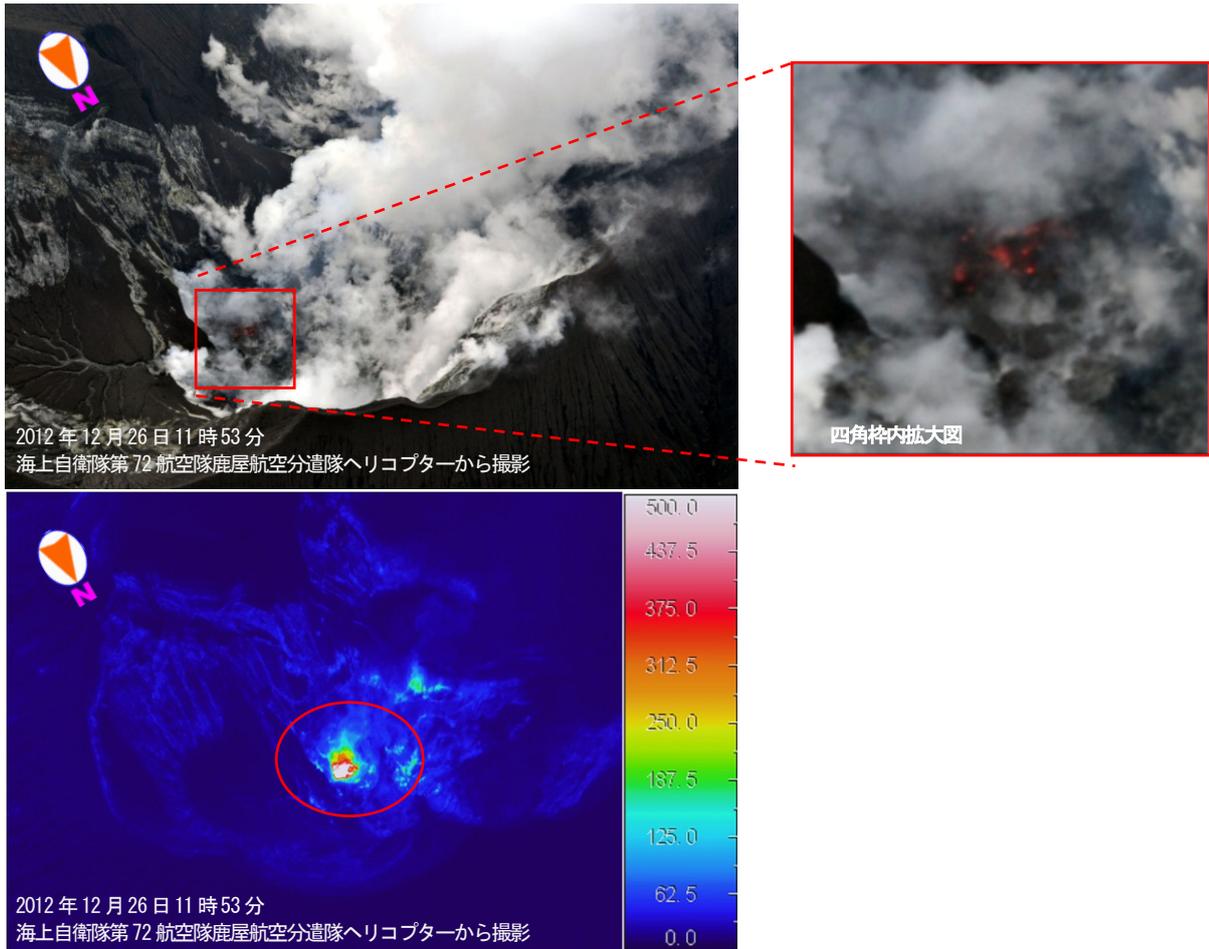
Fig.3 Variation in mean amplitude for one minute (November, 2012–February, 2013)



第4図 諏訪之瀬島 ナベタオ傾斜計の変化（2010年10月～2013年2月25日、時間値、潮汐未補正）
 <2010年10月～2013年2月25日の状況>
 火山活動によると考えられる変化は認められなかった。
 Fig.4 Tilt change at Nabetao station(October, 2010–February, 2013).



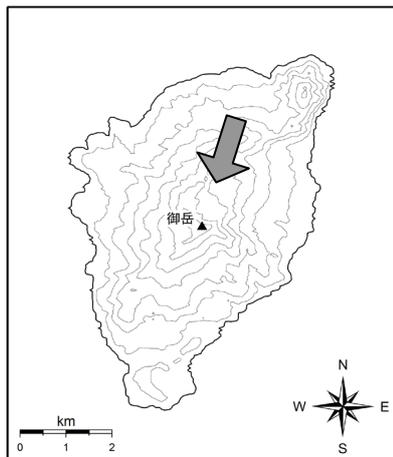
第5図 諏訪之瀬島 観測点配置図
 小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示す。
 (国) : 国土地理院
 この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用した。
 Fig.5 Location map of permanent observation sites of JMA in Suwanosejima.



第6図 諏訪之瀬島 御岳火口の状況及び赤外熱映像装置による火口付近の地表面温度分布
 (上図：可視画像 下図：赤外熱映像画像) (2012年12月26日撮影)

2012年12月26日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、御岳火口底の中央部で赤熱した溶岩が認められ、赤外熱映像装置による温度分布にも高温領域が認められた。(四角枠内拡大図及び赤丸)。

Fig.6 Visible and thermal images of Suwanosejima.



第7図 諏訪之瀬島 赤外熱映像及び写真の撮影方向
 矢印は図6の上空からの撮影方向を示す。

Fig.7 Taken angle and location of the visible and thermal images in Fig.6.